

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	音楽基礎	2	2年次・E2群	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
The Basics of Music （教育芸術社）		ファイル		自由選択

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
(1) 楽曲の表内容について理解を深めるとともに、創造的に表現するために必要な技術を身に付けるようにする。 (2) 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、意図を持って表現したり、よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音や音楽、音楽文化に豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞に生かそうとする態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・楽曲の表内容について理解を深めている。 ・創造的に表現するために必要な技術を身に付けるようにする。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持つことができるようにする。 ・音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	歌唱	ソルフェージュ 1	4	・音程練習をする。 ・様々なリズムの練習をする。 ・正しい発声を身に付ける。	1 2 3
		器楽	・コールユーブンゲン・コンコーネ 器楽の奏法 1 ・ギター弾き語り「チェリー」	5	ギターの奏法を理解する。 ・ギターでコード伴奏を演奏できるように練習する。 ・弾き歌いができるように練習する。	1 2 3
				6		
				7	・互いの演奏を評価する。	
	2 学 期	歌唱	ソルフェージュ 2	9	・音程練習をする。 ・様々なリズムの練習をする。 ・正しい発声を身に付ける。	1 2 3
		器楽 歌唱	・コールユーブンゲン・コンコーネ 器楽の奏法 2 ・ピアノ独奏「エリーゼのために」	10	・ピアノ演奏の基礎を習得し、コード演奏ができるように練習する。 ・演奏曲目について調べて鑑賞する。	1 2 3
				11		
				12	・互いの演奏を評価する。	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

3 学 期	鑑賞 器楽	器楽の奏法 3（和楽器） 器楽発表	1 2 3	・和楽器の種類を理解する。 ・和楽器の奏法を理解し、演奏できるように練習する。 ・器楽の演奏をし、発表する。 ・互いの演奏を評価する。	1 2 3 1 2 3
	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○楽曲の表内容について理解を深めているか。 ○創造的に表現するために必要な技術を身に付けたか。		○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持つことができたか。 ○音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしているか。	○音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているか。
学 習 評 価	手 段	・活動の様子 ・ワークシート ・実技		・活動の様子 ・ワークシート ・実技	・活動の様子 ・ワークシート ・実技
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。		
学習上の 留意点	・楽器（ギター・和楽器）の基本奏法を身に付けよう。 ・自分から進んで取り組み、自分のできる精一杯を表現してみよう。				